

あらぶんちよ散歩

vol.070

ひがしにっぽりろくちょうめ

東日暮里六丁目

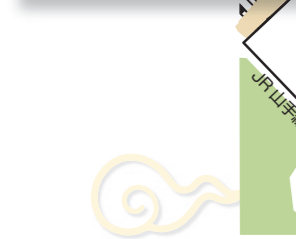
繊維街・日暮里駅とコリアンタウン・三河島駅の間に広がる六丁目は、両方の魅力をあわせ持つエリア。住宅街に荒川マイスターの方々の工房がいくつもあったり、小さなお店や銭湯ががんばっていたりするのがうれしい。下町らしい人情が息づく町です。

荒川区



夏目漱石ほか、文豪にも愛された羽二重団子。本店は五丁目にあり、六丁目にはカフェ「HABUTAE1819」がある

東日暮里六丁目はココ!



地元ゆかりの作家・吉村昭氏の展示コーナーが日暮里図書館に



↑東日暮里6丁目生まれ育った吉村昭氏

『戦艦武蔵』をはじめ、入念な取材に基づく重厚な記録小説のほか、幅広い分野で多くの作品を残し、数々の文学賞を受賞した作家・吉村昭。彼の生家近くにある日暮里図書館2階には、直筆原稿(複製)や写真、遺愛品などを常設展示した吉村昭コーナーがある。こちらでは、著作紹介とともに定期的にミニ企画展も開催している。

→平成18年に夫人で作家の津村節子氏から寄贈



日暮里図書館
住所:荒川区東日暮里6-38-4
TEL.03-3803-1645

繊維リサイクルで賑わった町ではじまった老舗の新たな試み

市域拡大や関東大震災の影響で、大正期に古布や裁ち落としを取り扱う業者が浅草界隈から移動してきたことが日暮里繊維街のはじまり。今より物資が乏しかった昔、ハギレや裁断クズを集めて、碎いて綿に戻してもう一度繊維にする「繊維リサイクルの町」として賑わっていたそうだ。大量消費の時代になり再生業が廃れる中、創業明治14年の「花嫁わた」は、平成2年より新品布団の製造販売を離れ、布団の打ち直しや丸洗いをメインに事業転換。かつての繊維リサイクルの町で行われる布団のリフォーム事業、というのが偶然にしても面白い。



←「花嫁わた」の昔の布団を作る作業風景

東日暮里六丁目日本町会 会長・笠島伸介さん

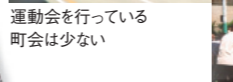
大人も子供も楽しめる町会主催の運動会

「六丁目の町会運動会も今年で43回を迎えます。夏に盆踊りを行う町会は近隣にたくさんあったので、何か違うものということで運動会を始めたそうです。はじめの20年ぐらいは本町会単独で開催していましたが、子どもが少なくなってきた、18年前から六丁目町会と合同で開催しています。けがをしない競技決めにしたり、レースごとの景品選びやそれを詰める作業など、準備は大変なことも多いけれど、毎年盛りあがるのでこれからも続けていきたいですね。やさそばや

おでんの屋台も出ますし、300人ぐらいは集まるんじゃないかな? 幼児から長寿会の方々まで、大人も子供も参加できる競技があって、当日参加もOKなので、ぜひ近隣の方に遊びに来ていただきたいですね。新旧の住民同士がふれあえる、顔の見えるお付き合いができればと、夏休みのラジオ体操後にスイカ割りやどじょうすくいをしたり、町会では季節ごとに工夫して様々なイベントを開催しています」



夏休みに行われるどじょうすくいと町会の恒例行事



運動会を行っている町会は少ない

第43回 秋季大運動会 10月20日(日)
会場:諏訪台中学校第二グラウンド
9:30開始(雨天の場合は体育館)

1 カメヤマ珈琲

注文毎に焙煎する豆の焼きたてのピュア味を

「皆さんに焙煎したてのコーヒーの味を知ってもらいたくて」お店をはじめたという亀山さん。焼き置きはせず、注文毎に生豆から焙煎して販売している。焼きたてのコーヒーの爽やかでクリアな味は衝撃的。100gごとの少量焙煎が可能なものうれしい。



←豆は100gを4杯200円、アイスアウトは1杯200円



住所:荒川区東日暮里6-22-14
TEL.03-3801-6776
営業時間:10:30~19:00
定休日:日

→店長の亀山逸人さん。分厚い窯を使っているので、煎りムラがなく芯まで火が通るのだとか

2 Curtain Fig Tree

アレンジ教室なども盛況なエスプリ溢れるお花屋さん

パリの有名な花屋「レ・ミルフォイユ」に出会って衝撃を受け、フランスのスタイルを勉強してきたという瀬尾さん。花の選び方から組み合わせ方、ラッピングに至るまで、デザイン性の高いアレンジは「花束」という名のオブジェのよう。教室も各種開催中。



住所:荒川区東日暮里6-58-10-103
TEL.03-3801-8721
営業時間:10:00~19:00(祝~15:00)
定休日:日

↑店長の瀬尾浩章さんと妹の典子さん

3 DONDON館

からくり屋敷のような住宅街のお好み焼き屋

素敵なお内装も壁に描かれた絵も、すべてご主人の手作りだという隠れ家的名店。いたずら好きなオーナーによる接客もかなりユニークで、「日暮里の手作りディズニーランド」との呼び名も納得。美味しいお好み焼きと楽しいひとときが満喫できる。昼は13:00より予約制。



♪ 豚玉にたっぷりのとろろをのせた、美人のこっそり夜食 1,050円は女性に大人気

住所:荒川区東日暮里6-33-6
TEL.03-3801-8850
営業時間:17:30~23:00
定休日:水

→オーナーの「BOSS」こと田中仁さん。お好み焼き教室も開催している

4 斉藤湯

江戸から続く仕事「三助」が日本で唯一、現役でいる銭湯

三助とは、銭湯の裏方仕事をする人のことで、手のすいた時間に背中を流してくれるのだ。「昔はどこにもいたんだけど、今はうちの秀ちゃんだけだね」と語る斉藤さん。来年建て替え予定だそうなので、昭和レトロな雰囲気がお好きな方はお早めに。



↑「手ぶらでお風呂」として貸しタオルやシャンプー、ボディソープを無料サービス中。入浴料は大人450円、流しは400円



住所:荒川区東日暮里6-59-2
TEL.03-3801-4022
営業時間:15:00~24:00
定休日:金



↑三代目のご主人・斉藤勝輝さんと三助の橋秀雪さん

5 ニューマルヤ

ハイカラな雰囲気ほっこりツタの絡まる洋食屋

創業は昭和16年。戦前はミルクホールだったそうで、洋食をはじめたのは昭和30年代後半からだとか。ルーから自家製のカレーなど、味は昔から一切変えていないという。昔懐かしい洋食メニューが勢ぞろい! 10年以上据え置きだというお値段もありがたい。



↑懐かしい味のビーフシチューは900円。カレーライスは550円



→サイクリングや競技スキーが趣味だというアクティブな店主・関義勇さん

住所:荒川区東日暮里6-15-4
TEL.03-3891-1386
営業時間:11:30~16:00 / 17:30~21:00
定休日:日・祝

